



編集発行 南薩地域振興局農林水産部農政普及課

TEL 0993-52-1359

南薩地域振興局農林水産部農政普及課指宿市十二町駐在

TEL 0993-22-6422

## 全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催！

南九州市知覧町(肉牛の部)では南薩地域の農畜産物をPRします！！

### 1 全国和牛能力共進会とは

第12回全国和牛能力共進会が令和4年10月6日から10月10日までの5日間、鹿児島県で開催されます。「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会で、5年ごとに開催されます。

平成29年9月に宮城県で開催された第11回大会で、本県は総合優勝(団体賞1席)を獲得し、「和牛日本一」となりました。また、鹿児島県での開催は、昭和45年の第2回大会以来52年ぶりで、全国で初めて2回目の開催となり、過去最多の41都府県から約460頭が出品されます。

### 2 審査基準について

審査は、種牛(雄牛・雌牛)の姿・形の体型の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「種牛の部」と、肉質を審査する「肉牛の部」があります。それぞれ会場が分かれており、「種牛の部」では霧島市、「肉牛の部」では南九州市知覧町にて行われます。

また、第12回鹿児島大会からは、「高校及び農業大の部」が新設されました。全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会となっています。



写真2 「肉牛の部」幹旋会の様子



写真1 各会場地図

### 3 南薩地域でのPR活動

南九州市知覧町では「肉牛の部」が開催され、多くの食肉流通者が集まります。南薩地域振興局では、南薩地域の農畜水産物の認知度向上・販路拡大を図るため、全共関係者や周辺施設の観光客に南薩地域4市の農畜水産物の魅力を発信するイベントを開催します。興味のある方は是非ご参加ください。

第12回 全国和牛能力共進会

和牛フェス in かがしま 2022



# スナップえんどうの栽培管理技術の普及について

## 1. 点滴チューブによるかん水技術

スナップえんどうの大部分は露地で栽培されていますが、指宿地区には開聞岳の火山活動によって生み出された礫(レキ)土が広がっており、保肥力や保水力が低いことが課題となっています。そこで、マルチ内への点滴チューブ設置によるかん水技術と電磁弁設置による省力化について検討しました。

結果、対照区に比べて点滴かん水区の収量は10～30%増収し、単収が2tを超えるほ場もありました。スナップえんどうの結果を受けて、そらまめでも点滴チューブを新たに導入する生産者もあり、このかん水技術は地域に普及しつつあります。



写真1 点滴チューブ設置風景



写真2 電磁弁を組み込んだ立ち上がり

## 2. IPM技術(生物的防除法等)によるアザミウマ類防除

スナップえんどうでは、アザミウマ類の被害である「白ぶくれ」による、着果不良や品質低下が問題となっています。農薬による防除が行われていますが、登録農薬が少ないことや農薬抵抗性によって防除が難しくなっています。

そこで、障壁植物(ソルゴー)と温存植物(ソバ)を利用したIPM技術による、農薬に頼らない防除方法を推進しています。

スナップえんどうのIPM取組面積は8.6ha(令和2年度)から13.1ha(令和3年度)へ増加しており、実践する生産者も増えています。



写真3 スナップえんどうのIPM風景



写真4 IPM研修会の様子



# 高速二段局所施肥機を活用した キャベツの減肥栽培の実証について

## 1 はじめに

国の研究機関で、畝立てと同時に二段局所施肥が可能となる高速二段局所施肥機(写真)が開発されました。

県農業開発総合センターの実証試験では、高速二段局所施肥機は畦内の上下二段に局所施肥が可能で、局所施肥によりキャベツの窒素施肥量を3割削減しても慣行栽培と同等の収量が確保でき、施肥作畝の作業時間が削減できる結果が示されています。

そこで、近年肥料原料が高騰していること等も踏まえ、キャベツでの現地実証を行ったので、紹介します。



写真1 高速二段局所施肥機

## 2 高速二段局所施肥機の肥料費削減効果

高速二段局所施肥機の施肥は下記の図のようなイメージとなります。



図 高速二段局所施肥イメージ

作物の生育に効果的な位置に局所施肥を行うことで農家慣行の3割の施肥量を削減できることから、肥料費の削減効果を試算すると10a当たり5千円程度の削減が見込まれます。

## 3 実証内容の概要

開発センターの成果を元に、実証農家のこれまでの施肥量を3割削減した区を基準にしました。

そして基準区に対し、増肥区(N:14.4kg/10a)、減肥区(N:9.6kg/10a)を設置し、収量への影響を調査しました。

(1) 設置場所:南九州市知覧

(2) 耕種概要

ア 品 目:キャベツ(品種:かおるだま)

イ 作 式:畦幅 60cm, 株間 35cm

植付株数 4,762株/10a

ウ 定植日:令和3年12月4日

エ 収穫日:令和4年4月13日

オ 試験区の構成(施肥量/10a)

表1 実証区の構成

区の構成(肥料袋/10a)	N	P	K
減肥区(4袋)	9.6	8	9.6
3割減肥区(5袋)	12	10	12
増肥区(6袋)	14.4	12	14.4

※ 肥料成分量(%) N:P:K=12:10:12

カ 追肥(/10a):N:P:K=9.6:0:9.6(R4.1.21)

## 4 結果と考察

表2のとおり、結球重は基準区が2,000gと最も重く、次いで増肥区1,747g、減肥区1,676gとなり、基準区が他の区より13~16%上回りました。

二段局所施肥を行うことで、肥料費が約5千円/10a削減でき、10ha規模では4年で機械導入メリットが期待できます。

表2 調査結果

区の構成 (肥料袋/10a)	外葉数 (枚/株)	結球(cm)		結球重 (g/株)	結球率 (%)
		縦径	横径		
減肥区(4袋)	9.3	17.3	19.1	1,676	(84)
3割減肥区(5袋)	9.4	17.6	20.1	2,000	(100)
増肥区(6袋)	8.8	16.3	19.4	1,747	(87)



写真2 収穫調査結果

左から減肥区, 3割減肥区, 増肥区  
(肥料4袋) (肥料5袋) (肥料6袋)

## 5 今後の取組

実証に取り組んだ農家からは、肥料を削減しても収量を確保できたことから、肥料高騰にも対応でき、コスト削減につながるとの意見を頂きました。

慣行よりも3割の肥料を削減でき、省力化にもつながることから、今後大面積を栽培する農家を中心に普及を図りたいと考えています。

## トルコギキョウ栽培支援

新たに※「トルコギキョウ」栽培始まる  
(※:JA南さつま共販として)

南九州市川辺町は平成7年から続く花「クルクマ」の産地ですが、令和3年からは、「クルクマ」の有望な経営組み合わせ品目として「トルコギキョウ」の栽培が4戸の農家で始まりました。

「トルコギキョウ」は冠婚葬祭いずれにも利用され、今後も需要が伸びると考えられる品目です。



写真2 現地の栽培検討会



写真1 出荷検討会の様子

南九州の温暖な気候を生かした「トルコギキョウ」栽培により、冬～初夏の時期に品質の良い「トルコギキョウ」の出荷が可能になります。

生産者にとって栽培しやすく、消費者に好まれる花の提供を目指して、今後も関係機関・団体と連携した支援に取り組んでいきます。

## さつまいも基腐病対策について

### 1 温度処理による種イモ消毒

#### (1) 種イモの採苗のポイント

- 種イモは病気の発生していない種イモ生産圃場から採取するのが原則。
- やむを得ず、基腐病の発生圃場から種イモを採取する場合、基腐病の病徴(地際の茎の黒変)が出ていない株から採取する
- 採取した種イモは貯蔵前に
  - ① 流水で水洗・選別
  - ② なり首と尾部の切除
  - ③ ②を行った後に蒸熱や温湯を利用することで、発生リスクが軽減される。

#### (2) 種イモの温度処理について

- 基腐病菌の胞子は48℃で一定の時間処理すると、胞子の発芽が認められなくなることがわかってきており、蒸熱処理を行う機械導入が進みつつあります。

- ・種イモの48℃、40分間の温度処理は、基腐病の発病を抑制し、腐敗塊根の発生リスクを軽減する
- ・温度処理によって萌芽に悪影響は見られない
- ・温度処理前に低温条件に置かれた種イモは、塊根内部の温度が低く、40分間の温度処理では塊根内部の温度が上がりにくい。